

「満蒙問題」の歴史的構図

「満蒙問題」の歴史的構図

中見立夫
著



[「満蒙問題」の歴史的構図 下载链接1](#)

著者:中見 立夫

出版者:東京大学出版会

出版时间:2013-3-27

装帧:単行本

isbn:9784130261432

「満蒙」という地域概念はいかにしてつくられたか、「満蒙独立運動」なる事件は本

本当に存在したのか。問い合わせ満洲国建国へつながってゆく。モンゴル日本中国ロシアの原典史料をしてその実態を語らしめる、近代東アジア研究の第一人者による待望の一書。

作者介绍:

目录: 緒言——本書の課題と構成

序論 地域概念の政治性

第一章 「東部内蒙古」という空間

第二章 清朝末期の内モンゴル王侯

第三章 清末期ハラチン右旗の王府と社会

第四章 清朝の崩壊と「満蒙独立」という幻影

第五章 グンサンノルブの模索

第六章 「モンゴル独立」をめざし挫折した、ある内モンゴル人の実像

第七章 日本による袁世凱打倒工作の展開とバボージャブ

第八章 徘徊えるバボージャブの兵士とシベリア内戦

結語 「満蒙独立運動」という幻想

補論 “東北／北東アジア”はどのように、とらえられてきたか

・ · · · · (收起)

[「満蒙問題」の歴史的構図 下载链接1](#)

标签

日本汉学

满蒙

满洲国

清史

历史

满洲史

史学

东北史地

评论

今年读到的第一本让人觉得激动的好书。中见立夫不仅观察到“满洲”到“满蒙”的扩大，“满蒙”内部的张力更理解“蒙疆”概念的扩展。提供了理解30年代的满蒙的又一维度。羡慕他的语言能力。

[「满蒙問題」の歴史的構図 下载链接1](#)

书评

[「满蒙問題」の歴史的構図 下载链接1](#)